

PLES Report No. 30

慣用表現力を鍛える：前口上を述べる

田中茂範 PEN言語教育サービス

何かを言う際にいきなり本論に入るといふより、自分の気持ちや態度を前置きすることがよくあります。例えば「子供は大人より外国語を学ぶのがうまい」といいたいとします。英語では **Children are better than adults in learning a foreign language.** となるでしょう。これをそのまま表現するのではなく、「一般論としては」だとか「言うまでもなく」などといった前置きをすると以下ようになります。

Generally speaking, children are better than adults in learning a foreign language.
Needless to say, children are better than adults in learning a foreign language.

言いたいことは同じですが、**generally speaking**（一般論としては）と **needless to say**（言うまでもなく）のいずれを選ぶかで、相手の応答も変わってくるはずですが。前口上をタイプで分けると、以下のネットワークのように、発話に向かう態度を示す、話題の幅・表現の正確さを示す、内容に対して感情的反応を示す、内容についての話者の確信の度合いを示すの4種類に分かれます。

前口上を述べるための慣用表現ネットワーク

① 発話に向かう態度を示す

honestly speaking（正直言うと）、**frankly**（率直に言えば）、**to tell the truth**（本当のことを言えば）、**ironically**（皮肉なことに）、**metaphorically speaking**（比喩的な言い方をすれば）、**all jokes aside**（冗談はさておき）、**seriously, though**（まじめな話）、**off the cuff**（思いつきだけ）など

② 話題の幅・表現の正確さを示す

generally speaking（一般的な言い方をすれば）、**in general**（一般的に）、**strictly speaking**（厳密にいうと）、**specifically**（具体的には）、**loosely speaking**（大まかな言い方をすれば）、**roughly speaking**（あらっぽい言い方をすれば）、**linguistically**（言語学的に言えば）、**to be more exact**（もっと正確には）、**technically speaking**（やかましく言えば）、**internationally**（国際的には）、**between you and me**（ここだけの話ですが）など

③ 内容に対しての感情的反応を示す

to my surprise (驚いたことに)、to my disappointment (残念なことに)、unfortunately(残念なことに)、sadly(悲しいことに)、gladly (うれしいことに)、fortunately (幸運なことに)、luckily (運のいいことに)、interestingly (興味深いことに) など

④ 内容についての話者の確信の度合いを示す

certainly (確かに)、obviously (明らかに)、apparently (どうみても)、clearly (はっきりしているのは)、needless to say(言うまでもなく)、no doubt(疑いなく)、of course (もちろん)、probably (おそらく)、maybe (たぶん、なんとなく)

対話に向かう態度

「発話に向かう態度を示す」表現は、honestly のように形容詞に-ly を付ける副詞が多く使われますが、to be honest with you (君には正直にいうと) のような表現も多用されます。また、frankly は frankly speaking ともいいます。これから話すことに際しての発話態度を示すということで共通しています。通常は、「誠実に、そして率直に話す」というのが基本ですが、ironically speaking (皮肉な言い方をすれば) とか metaphorically speaking (比喩的にいえば) ということもある。

Frankly (speaking), our boss has the human touch. 率直に言って、僕らの上司は人間味があるね。

Ironically (speaking), the rich people always want to be richer, and they're never satisfied with what they possess. 皮肉な言い方をすれば、金持ちの人はいつももっと金持ちになりたいと考え、持っているものに満足することは決してない。

決まり表現としては、Let me call a spade a spade. (はっきり言わせてもらいます) や I'm not joking. (冗談ではないよ) も「発話態度を表現する」慣用表現と考えることができます。相手がこちらのはっきりしない発話態度に不満を持てば、Give it to me straight. (ずばり言って) だとか Don't beat around the bush. (回りくどい言い方はやめて) と指摘されるでしょう。

話題の幅を設定する

「話題の幅」を設定することで、これから話す内容の適用範囲をあらかじめ述べてから、内容に入るという場合があります。That's an interesting finding. (それは興味深い

知見だ)だと「興味深い」が及ぶ範囲が設定されません(なお、**finding**は「研究などの結果得られた知見」を表すのに使います)。ところが、**Linguistically, that's an interesting finding.** (言語学的には、それは興味深い知見だ)といえ、**「言語学という分野において」と範囲を示すことになります。**それが、**Internationally, that's an interesting finding.**だと「国際的に、それは興味深い知見だ」ということです。もちろん、**in the field of linguistics [physics, chemistry]** (言語学[物理学、化学]の分野で)のような表現の仕方も可能です。以下の文頭の表現も話題の幅を設定する働きをします。

Just between you and me, it looks like they're going to divorce. ここだけの話だけど、
どうやら彼らは離婚するらしい

A whale lives in the sea. But **technically speaking,** it's a mammal. 鯨は生みに住んでいる。しかし、
やかましくいえば、鯨は哺乳動物だ

Generally speaking, Japanese people aren't very outspoken. 概して、日本人はあまりおしゃべりではない

会話場面でも **Why do you come to the office so early?**と聞かれて、「概して(たいていは)、朝のほうあまり混んでないので」といったければ **Generally speaking, the train is less crowded earlier in the morning.**と表現することができます。

内容に対しての感情的反応を示す

これから述べる内容に対して感情的な反応を示した上でその内容を述べるということもよくみられます。「驚いたことに、彼は仕事を辞めて、アフリカに行っちゃったよ」だと以下ようになります。

Surprisingly, he quit his job and left for Africa.

To my surprise, he quit his job and left for Africa.

この **to one's surprise** は、以下のような応用もあります。

To her pleasant surprise, Bob aired out the bedding before going to his office. 彼女には嬉しい驚きなんだけど、ボブは会社に行く前に布団を干してくれた

Much to my surprise, she married Jim, not Bob, and one year later, she got divorced and remarried Bob. すごく驚いたんだけど、彼女はボブじゃなくて、ジムと結婚したの。でも一年後には、離婚して、ボブと再婚したのよ。

「とっても嬉しい驚きなんだけど」と強調したいときには **to my very pleasant surprise** と表現することもできます。「私にとってはとても大きい驚きであり喜びだが」だと **to my great surprise and pleasure** と応用することもできます。

もちろん、**surprise** の代わりに **disappointment** にすれば「失望」のありようを表現することができます。「失望」や「落胆」を表すときは、以下のような慣用表現を使うことができます。

much to one's disappointment (大変残念なことだが) **to one's dismay**(落胆したことに) **to one's regret**(残念なことだが)

そこで「大変残念なことに、課長はぼくのアイデアを気に入ってくれなかった」は **Much to my disappointment, the manager didn't like my idea.** となります。同じような気持ちは、**I'm disappointed with the manager's reaction to my idea.** (ぼくのアイデアに対する課長の反応にはがっかりした) のように表現することもできます。

確信の度合いを示す

何かを述べる際に、「確かさ」の度合いをはっきりさせることがよくあります。「明らかに、岡田氏は人事判断でミスを犯した」だと **Obviously, Mr. Okada made a mistake in his personnel decision.** と **obviously** や **clearly** を持ってくるでしょう。「これから述べることは明白なことだ」という思いを表すのが、**obviously** です。

確信の度合いを示しながら、何かを言うという状況では、慣用表現も豊かです。以下にその例を示します。まず、「確かに」に当たる表現です。

Apparently, he was disappointed with the answer he received from Naomi. どうみても、彼はナオミの回答に失望していた。

I'm confident that I'll be able to make a good presentation.

自信があるよ。よいプレゼンができるだろうということに対しては。

I'm positive this product will be a big seller.

絶対に、この商品はヒットするだろう。

Certainly, this training program is hard and challenging.

確かに、この訓練のプログラムはキツイし、やりがいがある

certainly や **apparently** は **It is certain [apparent] that** で言い換えることができますが、表現としては、話し手の確信というよりも「内容の確かさ」に重点が置かれます。

It is certain that ... (客観的にみて) 確かに～だ

It is probable that ~は(多分に)ありそうだ

It is possible that ... (可能性としては)~はありうる

「生産コストが上がることはありうる」だと **It is possible that production costs will increase.** となります。

「確信の度合いが低い」あるいは「自分の確信に疑いがある」場合の表現は以下が典型的です。

I'm not sure he will attend the party tomorrow. どうかなあ、彼、明日のパーティーに来るかな

Possibly (Maybe), he'll refuse to receive the award. もしかしたら、彼はその賞を受け取ることを断るかもね。

I'm skeptical about their sales forecast for the next quarter. 次の四半期の販売予測には懐疑的だな

発話に対して態度を示して話す訓練

ここでこれからいうことに対して、話し手の態度を示して話す訓練をしましょう。日本語で状況を示しています。この状況を英語で表現したいとします。ここで紹介した前口上の慣用表現を使って、英語にしてみましょう。正解は1つとは限りません。

状況1：高級服についてのシミが取れないとクリーニング屋に言われ、「本当にかっかりしたんだけど、このシミは取れないんだって」と友人に伝える状況

() they can't take this stain out.

状況2：What do you usually do on the weekend? (週末はいつも何しているの?) と聞かれて、「たいていは、土曜日は家事をして、日曜日には友達に会っている」と応答する状況。

() I do housework on Saturday and meet friends on Sunday.

状況3：ナオミからのメールに応じないでいると「何で返事をしてあげないの?」と聞かれ、「はっきりいって、もうナオミのことを好きじゃないんだ」と応じる状況

() I don't love Naomi any more.

状況4：Did you lose something? (何かなくしたの?) と聞かれ、「私のスマホが見つからないの。絶対にここにあったんだけど」と応じる状況

I can't find my smart phone, but () it was here.

解答例 : 状況 1 : to my great disappointment、much to my disappointment ; 状況 2 : generally speaking ; 状況 3 : Frankly speaking, Frankly, To be honest with you ; 状況 4 : I'm sure, I'm positive, I'm confident